

平成 31 年度入学者選抜学力検査問題(前期日程)

数 学

I ・ II ・ III ・ A ・ B

(医学部生命科学科・医学部保健学科・工学部)

(注 意)

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は 4 ページ，解答用紙は 4 枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答はすべて解答用紙の指定のところに記入すること。
解答用紙の表面だけで書ききれない場合は，裏面の下半分
を使用することができる。
4. 解答用紙は持ち帰ってはならないが，問題冊子は必ず持ち
帰ること。

〔Ⅰ〕 座標 $(1, 1)$, $(1, 2)$, $(1, 3)$, $(2, 1)$, $(2, 2)$, $(2, 3)$, $(3, 1)$, $(3, 2)$, $(3, 3)$ で表される9つの格子点について考える。この中から3つの異なる格子点を選び出し、これらを直線で結んで図形を作ること考える。以下の問いに答えよ。

- (1) 3つの格子点の選び方は全部で何通りあるか。
- (2) (1)の組合せがすべて等しい確率で選ばれるとき、選ばれた3点が三角形をなす確率を求めよ。
- (3) (1)の組合せがすべて等しい確率で選ばれるとき、選ばれた3点が鈍角三角形をなす確率を求めよ。

〔Ⅱ〕 三角形 ABC の辺 AC を $1:2$ に内分する点を Q, 辺 BC を $m:n$ ($m > 0$, $n > 0$) に内分する点を P, 線分 AP と線分 BQ の交点を R とする。点 R を通る直線が, 辺 AB, AC とそれぞれ点 D, E で交わるものとする。また, $\vec{b} = \overrightarrow{AB}$, $\vec{c} = \overrightarrow{AC}$ とする。次の問いに答えよ。

- (1) $\overrightarrow{AR}$ を, m , n , $\vec{b}$, $\vec{c}$ を用いて表せ。
- (2) $k = \frac{AB}{AD} + \frac{AC}{AE}$ とする。 k が点 D の線分 AB 上での位置によらず一定であるような m と n の関係を示し, そのときの k を求めよ。

〔Ⅲ〕 $0 < k < 1$ とする。 $0 \leq x < \frac{\pi}{2}$ の範囲において、2つの曲線 $y = \sin 2x$ と $y = 2k \tan x$ で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

〔Ⅳ〕 xy 平面上において、極方程式 $r = \frac{4 \cos \theta}{4 - 3 \cos^2 \theta} \left(-\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \frac{\pi}{2} \right)$ で表される曲線を C とする。

- (1) 曲線 C を直交座標に関する方程式で表せ。
- (2) 曲線 C で囲まれた部分を x 軸の周りに一回転してできる立体の体積を求めよ。
- (3) 曲線 C で囲まれた部分を y 軸の周りに一回転してできる立体の体積を求めよ。

